

短報

## 熊本県におけるアオギリオオキジラミの初記録

\*1中園洋行・\*2安田雅俊

\*1熊本県博物館ネットワークセンター

\*2国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所九州支所

キーワード：熊本県，アオギリオオキジラミ，アオギリ，分布

### はじめに

キジラミ類は半翅目（カメムシ目）キジラミ上科に属する昆虫で，コナジラミ類，アブラムシ類，カイガラムシ類とともに腹吻群を構成し，有用植物に対する害虫種も多く知られている（井上 2003）．アオギリオオキジラミ *Carsidara limbata* (Enderlein, 1926)は，アオイ科のアオギリ *Firmiana simplex* (L.) W.F.Wight を寄主植物とする大型（体長 3.2~3.9mm，翅端まで 5.9~7.0mm）のキジラミで（宮武 1988），国内では本州，四国，九州から知られている（井上 2014）．国内における採集は 1950 年代からあるものの（Miyatake 1981），本州や九州において本種が確認されるようになったのは 2010 年代になってからであること（Cho et al. 2016, 宮武・井上 2016），植栽されたアオギリで確認されることから，本種が他



図1 アオギリオオキジラミの分泌するワックス  
(宇城市三角町三角浦)

の産地から移入された可能性も指摘されている（宮武・井上 2016）．

筆者らは 2023 年秋，これまで記録がないとみられる熊本県内の複数箇所において本種を確認したので，以下の通り報告する．なお，本種はアオギリの新梢や葉裏に幼虫が群生し，白い綿状のワックスを分泌するためよく目立つが（宮武 1988），ワックスに覆われることで正確に個体数を把握することが困難であったため（図 1），確認地点ごとの生息状況は定量化しなかった．

### 確認記録

アオギリオオキジラミ *Carsidara limbata* (Enderlein, 1926) (図 2)  
熊本県熊本市中央区京町 1 丁目, 30-IX-2023, 安田確認；12-XI-2023, 安田確認  
熊本県熊本市南区護藤町, 1-X-2023, 安田確認；3-XI-2023, 安田確認・2♂3♀採集  
熊本県熊本市東区江津 1 丁目, 3-X-2023, 安田確認



図2 アオギリオオキジラミ成虫  
(標本登録番号 NB15-12387;スケールは 1mm)

2023年12月8日受付 2024年2月28日受理  
\*1熊本県宇城市松橋町豊福1695

熊本県熊本市中央区黒髪3丁目, 3-X-2023, 安田確認  
 熊本県熊本市中央区中唐人町, 10-X-2023, 安田確認  
 熊本県宇城市三角町三角浦, 18-X-2023, 中園確認・1♂1♀採集  
 熊本県宇土市古保里町, 3-XI-2023, 中園確認  
 熊本県熊本市南区川尻4丁目, 3-XI-2023, 安田確認

今回の調査で本種が確認された8地点(熊本市6カ所, 宇土市1カ所, 宇城市1カ所)を図3に示した。採集した成虫は, 井上(2014)や宮武(1988)などを参照し, 主に前翅の脈相から本種と同定した。その後全て乾燥標本とし, 熊本県博物館ネットワークセンターに収蔵した(標本登録番号NB15-12385~NB15-12391)。筆者らが成虫を確認したのは10月中旬から11月中旬であったが, 井上(2014)によると本種の成虫出現時期は「5月~翌春」で, 「成虫越冬」となっていることから, その出現時期はかなり長期にわたるようである。本種の寄主植物であるアオギリは, 国外

では中国や台湾, 国内では本州(伊豆半島, 紀伊半島), 四国(愛媛県, 高知県), 九州(大隅半島), 南西諸島に自生し, また街路樹として植栽されている(米倉2017)。『熊本県植物誌』(熊本記念植物採集会編1969)には「各地に栽植され」とあることから, 本県内にはアオギリの自生地はなく, 全て植栽あるいは植栽由来とみられる。

筆者らの調査では, アオギリは平野部のみに見られ, 熊本市内に多かった。明らかに街路樹として植栽された場所もあったが, 植栽されたとは考えにくい場所にも分布していた。熊本市以外ではアオギリは少なく, 1カ所あたりの生育数も1~数株程度であったが, そのような場所でもアオギリオオキジラミは確認された。今後さらにアオギリの調査が進めば, 県内の広い範囲で本種が確認されるだろう。なお, 図3にはアオギリオオキジラミが確認できなかったアオギリの生育地点は示していない。これは, 街路樹など場所によっては, 筆者らの調査以前に, 消毒によりアオギリオオキジラミの定着が阻害されている可能性があるためである。

### 謝辞

熊本県博物館ネットワークセンターの安田晶子氏, 前田哲弥氏, 竹原千晶氏, 自然観察指導員熊本県連絡会の矢次智浩氏には, 調査にご協力頂いた。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

### 引用文献

Cho, G., Inoue, H., Burckhardt, D., Lee, S. 2016. The identity of the *Carsidera* species (Hemiptera: Psylloidea: Carsidaridae) associated with *Firmiana simplex* (Malvaceae) in Japan and Korea. *Zootaxa*, 4171(2): 395-400.  
 井上広光. 2014. チュウゴクナシジラミを識別するための絵解き検索. *植物防疫*, 68(4): 180-186.



図3 熊本県内におけるアオギリオオキジラミの確認地点

- 熊本記念植物採集会（編）. 1969. 熊本  
県植物誌. 436pp. 長崎書店, 熊本.
- Miyatake, Y. 1981. Discovery of the  
tropical psyllid, *Thysanogyna minor*  
from Japan, with description of a  
new subspecies (Hemiptera:  
Psyllidae). *Bulletin of the Osaka  
Museum of Natural History*, (35):  
37-41.
- 宮武頼夫. 1988. 農業害虫としてのキジラ  
ミ類の見分け方 (1). *植物防疫*,  
42(12): 603-610.
- 宮武頼夫・井上広光. 2016. アオギリオオ  
キジラミの本州および九州からの新記  
録. *Rostria*, (59): 21-24.
- 米倉浩司. 2017. アオイ科. In: 大橋広好・  
門田裕一・木原浩・邑田仁・米倉浩司  
(編). 改訂新版日本の野生植物 4 ア  
オイ科～キョウチクトウ科. pp. 23-35.  
平凡社, 東京.